

# 山麓探偵団通信

10月号

二ヶ月ぶりの探偵団は、台風情報におどかされつつも、どういうわけか？ 素晴らしい秋晴れに恵まれ、総勢十一名は、笑顔で出発。

須走五合目から幻の滝方面に向かい、ごろごろした火山岩の道なき道を上り、時おり眼下に広がる大パノラマ（相模湾から箱根の山々、御殿場の黄金色の稲穂田、美しい三日月形の山中湖、裾野市の街並など、書ききれないほどの箱庭の数々）に歓声をあげた一日でした。

ハナイカリにはじまって、ハンノキ、カラマツ・ベニハナ・イグチ、ハナイグチなどのキノコ類、桜の木肌に似たダケカンバの幼木、コケモモ、樹皮や岩石に着生した地衣類、そして最後に分け入った森で目にしたダケカンバの様々な不思議な形にも、目をみはりました。探偵団の魅力は、体験してこそ！ おおいに共感し合い、参加者は夕暮れの須走を後にしました。

## ■伊藤浩美団長の感想

秋の一日を、勉強会ではなく、人の行かない場所に行つて過ごす。思わぬ山の恵みに出逢い、それもオマケになり、楽しい刺激となりますね。

## ▼参加者の感想文

Y・ 2000メートル以上の山歩きは数十年ぶりで、たいへん感激しました。

H・ 自分が自然をいかに知らないか、よくわかりました。反原発などの、下界でのいろいろな問題から離れ、きょうはととてもスカっとしました。



↑ 道なき道もわくわくと！



テングダケ発見

J・ 三ヶ月ぶりの参加です。ダケカンバの幼木の色が、印象的でした。

K・ この九月の探偵団をひたすら心待ちにして、がんばって働き、夏を過ごしました。

M・ キノコやサルナシなどの、山の主役たちに出逢え、新発見がたくさんありました。

K・ 初参加で、ぜひ伊藤さんに案内を頼っていました。最後の森の木（ダケカンバ）の形に、生命力を感じました。

S・ 久しぶりに気持ちの良い一日でした。山中湖、箱根の大パノラマも素晴らしかったですし、陸の珊瑚、地衣類が印象的でした。ダケカンバの森に、樹海とは異なった生命力を感じました。

Y・ 道なき道を、わくわくして歩きました。オンタデの草紅葉、富士の山肌が美しかったです。

A・ 身も心も、浄化されたような気持ちになりました。

N・ オフロードは、ほんとうに楽しく、大好きです。探偵団には、何回も参加しているのに、知らないことばかりで、毎回おどろく発見があります。それがまた、この活動の魅力だと思います。

## 十月の探偵団活動ご案内

〈富士南麓・ぐるっと太郎坊周辺〉  
けもの道ならぬ、伊藤浩美氏の仕事場であるカメラマンの道を、今回は秋を味わいながら散策。

・ 開催日 十月二十日（土）  
・ 集 合 午前9時半

「すばしり道の駅」  
・ 参加費 二二〇〇円（ガイド代、保険代を含む）

・ もちもの 昼食・防寒着・マイカップ・雨具・ストック  
任意で図鑑や双眼鏡等

\* 三日前までにメールか電話で、お申し込みください。

◇  
◎ なお、次回は、十一月十五日（木）団長は植物画の木村奈保子さんと、ステンシルを使つての、楽しいひとときを、予定しております。

ガラリエ・オムの木村修さんが、今年も、アメリカ・ミネソタ州の *birds in art* に、葦と青サギの作品で、入選されました。珠玉の全入選作品が掲載されたカタログを、探偵団で購入しましたので、お手にとつてご覧ください。

発行 杆・澗 権 事務局  
山梨県山中湖村平野一六九八  
電話 〇五五五・六五・七〇二三